
紅葉day ~ 紅葉の戯言 ~

彩瀬姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅葉day／紅葉の戯言

【Nコード】

N0265I

【作者名】

彩瀬姫

【あらすじ】

花粉症がひどい響、そして大翔。家にいてゲームをしていたわけだが――。「響×大翔」シリーズ第8弾！！

（前書き）

ボーイズラブです。苦手な方はご注意ください。

「はあ……はあ……はくしゅんっ」

響が小さなくしゃみをした。

可愛いなと思いつながら、それは口にしない。

9月。秋。

花粉の時期が到来だ。

今日は響の家でゲームをしていた。が、響のくしゃみが凄くって中断をしたわけだ。

「だいじょ……ぶか？」

「うーんちよつと目がかゆい……けど、何で大翔笑ってるの？」

「わっ笑って……いるわけじゃ……っ」

笑っているわけではない。実は俺も花粉症で、くしゃみをこらえていたのだ。

こらえている理由は、俺のくしゃみの大きさだ。代々の遺伝からか、くしゃみがとてつもなく大きいのだ。

恥ずかしいことでもないかもしれないが、やっぱり響の前ではカッコよくいたいと思うのだろう。それがいろんな誤解を招くこともあると先日知ったわけだが、カッコ悪い姿は見せたくないと思うのはみんな同じだと思う。

好きな人にはもつと好きになってもらいたいと思うのだから……。

「ねえ？大翔。大翔は花粉症なの？」

「ああ？そうだけど」

「そうなんだ。僕は花粉症毎年酷くって一日一箱はティッシュが無くなっちゃうよー！」

鼻をズビズビとか見ながら力説。

「そうなのか。俺はそれほどでも……」

——ある——！！

家に帰ったら悲惨。寝れず、目が充血し、家族のくしゃみの大合

唱が始まる。

そんなことは響にはもちろん言えるわけなく、曖昧に返事をした。
「はっしゅん、はっくしゅん!!」

響はくしゃみが止まらないのか、目が充血して潤んでいて、まる
ウサギのように目がくりくりしていて——可愛いつつ!!
最近思っのだが、

俺は「響バカ」らしい……

「大翔ーもう、ない……ぼーっとして……のお……っくしゅん!」

必死に声を出そうとするのだが、くしゃみが邪魔してなかなか言
葉にならないらしい。

「秋だな………」

緑の葉っぱたちが、赤く染まっていく。頬を染まったかのように
真っ赤に……それはまるで恋をしている者のように——

「何笑ってんの!もう………」

どうやら、響は俺がくしゃみをしていることに笑ったと思ったら
しく、拗ねたように顔ごと俺から背けた。

「大翔なんか知らない!!紅葉もみじみたいに大翔も散っちゃえばいいん
だ!!」

「じゃあ、響も一緒に」

「ええ?なんで僕も?」

怪訝な顔する。

「だって、響も紅葉みたいだなって思ってた………」

「それってどういう意味?」

上目遣いで必死に聞いているが、俺は持ったえぶるようにうーんと
唸るふりをする。

「秘密」

と言って、響の唇に人差し指を立てると、響が強引にも俺の肩を
掴んで揺さぶってきた。

「秘密ってズルイ！教えてよっ」

「秘密」

「教えてよっ」

と、この繰り返しが続くわけだが、

「大翔、大好きだよ？」

突然の言葉に俺は顔を真っ赤に染めた。

「俺だって、好きだ」

対抗して好きと伝えると、響も顔を真っ赤にした。

結果、紅葉は二人とも——ということだ。

（後書き）

こんにちは、彩瀬姫です。

今回は14日に更新することができませんでした。

すみません。次回も14日に更新はできるか、ちょっと怪しいです。

このお話しを書いていて気付いたんですが、コウヨウとモミジって同じ紅葉かんじなんだなと思いました。書いてて驚きました。

次回も頑張ります。

読んで頂き、有難うございました！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0265i/>

紅葉day～紅葉の戯言～

2010年10月12日07時42分発行